

第 23 回 第 4 分科会会議録 (概要)		場 所	新宿区役所第一分庁舎 7 階 研修室
日 時	平成 18 年 5 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 00 分	記録者	< 学生補助員 > 山口洸輝、永井祐介
		区担当	企画政策課 田中
会議出席者 : 21 名 ( 区民委員 : 15 名 学識委員 : 2 名 区職員 : 4 名 )			
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議進行次第</li> <li>・ 第 22 回第 4 分科会議事録</li> <li>・ 新宿区基本構想審議会委員の推薦方について</li> <li>・ 第 2 回世話人・第 4 回編集部会まとめ</li> <li>・ 班長会議議事録 (5 月 16 日)</li> <li>・ 第 3 回最終提言 WG まとめ</li> <li>・ 第 5 回編集部会まとめ</li> <li>・ 第 4 分科会提言 (案)</li> <li>・ 第 4 分科会活動記録 (班活動、班長会)</li> </ul> <p>進行内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 本日の議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新宿区基本構想審議会委員の推薦方などについて (事務局)</li> <li>(2) 第 2 回世話人・第 4 回編集部会 (5 月 14 日) の報告</li> <li>(3) 班長会 (5 月 16 日) の報告                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会委員の選任</li> <li>・ 発表者の選任</li> </ul> </li> <li>(4) 第 3 回最終提言 WG (5 月 19 日) の報告                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付担当の選任</li> </ul> </li> <li>(5) 第 5 回編集部会 (5 月 25 日) の報告</li> <li>(6) 提言 (案) の確認</li> <li>(7) その他</li> </ol> </li> <li>3 連絡事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 次回の会議日程について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol> <p>会議内容</p> <p>[発言者] : 区民委員 : 学識委員 : 区職員</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会             <p>(田中): 時間になりましたので、ただいまから第 23 回第 4 分科会を開始させていただきます。 本日は雨の中お集まりいただきましてありがとうございます。それでは小宮リーダーに進行をお</p> </li> </ol>			

願います。

(小宮): 皆さん、こんにちは。今日は天気が悪いのですが、頑張っていきましょう。最初に、新宿区基本構想審議会委員の推薦について、事務局から説明があります。

## 2 本日の議事

### (1) 新宿区基本構想審議会委員の推薦方などについて (事務局)

(田中): 5月14日の世話人会でも説明しましたが、中山区長から新宿区民議会会長あてに、新宿区基本構想審議会委員として各分科会1名の推薦をお願いしたいという趣旨の文章が渡されました。内容を説明します。

< 資料「新宿区基本構想審議会委員の推薦方について」説明 > (省略)

[資料補足]・学識経験者は各分科会学識委員6人+寄本先生

- ・骨子案ができたときにまた区民会議で集まり、意見をいただく。その際に、盛り込めないものについてはどういう理由で盛り込めないのかも説明する。それに伴い任期を1月31日まで延長させていただきたい。
- ・平成19年8月頃、基本構想、基本計画のパブリックコメントをかけ、平成19年12月の第4回定例会にて議決予定。実施計画はその後決める。
- ・できれば今日、審議会委員を1名決めていただきたい
- ・一口メモの提出と提言書に氏名の記載を希望されない方は、6月2日までに事務局まで連絡をお願いする。

### (4) 第3回最終提言WG(5月19日)の報告

(小宮): 予定を変更して、先にWGの報告をしていただいた方が話のつながりがよいので、植木さんよろしく願います。

< 資料「第3回最終提言WGまとめ」説明 > (省略)

(植木): 当日どなたか受付をやっていただけませんか。できれば班長や編集部会に出ていない方をお願いしたいのですが。

(犬塚): (挙手)

(板本): やります。中間発表会ときには何もやらなかったのです。

(植木): それではお二人をお願いするということでしょうか。

< 拍手 >

(小宮): どうもありがとうございました。犬塚さん、板本さんよろしく願います。

植木さんの説明で、何かご質問はありますか。

(渡辺): 休憩時間中に写真とか記録とかのスライドショーを流すとのことですが、第4分科会として、どういう内容のものを流すかを事前に決めなくて大丈夫ですか。

(植木): 事務局で撮った写真はかなりの枚数がありますので、私と事務局とで各分科会の写真の中から何枚か選ばせていただきたいと思います。それと、活動時間についても事務局と確認を取って集計してありますので、お任せください。

### (2) 第2回世話人・第4回編集部会(5月14日)の報告

(小宮): 次に、世話人・第 4 回編集部会の報告を行います。

< 資料「第 2 回世話人・第 4 回編集部会まとめ」説明 > (省略)

(3) 班長会 (5 月 16 日) の報告

(小宮): 次に班長会の報告を、板本さんをお願いします。

(板本): 前回の分科会の後、班長会議をこの会場で持ちました。基本構想審議会委員の推薦ということで、班長会としては小宮さんの名前を挙げていますが、これはあくまでも案です。皆さんの中で私が是非やりたいという方がありましたら、挙手をお願いします。どなたもいらっしやなければ、小宮さんということによろしいでしょうか。

< 拍手 >

(板本): それでは小宮さん、よろしくをお願いします。次に、当日の発表者ですが、「報告のまとめ」では遠藤さんと犬塚さんとなっておりますが、植木さんに確認したところ、発表者は何人でもよいとのことでしたので、こちら、是非発表したいという方がありましたら挙手していただきたいのですが、いかがでしょうか。どなたもいらっしやいませんか。では、犬塚さんと遠藤さんでよろしいでしょうか。

< 拍手 >

では、これで班長会の報告を終わらせていただきます。

(植木): 犬塚さんが発表されるということでしたら、受付は替っていただいた方がよいのではないのでしょうか。

(犬塚): 大丈夫です。やります。

(植木): では、よろしくをお願いします。

(田中): 先ほど審議会の委員が小宮さんということでもとまったのですが、今日欠席の方も非常に多いので、事務局から、「分科会では小宮さんを推薦することに決まった」という内容の連絡を全分科会委員にさせていただきたいと思います。

(小宮): それでは犬塚さんと板本さん、25 日の受付をよろしくをお願いします。また、遠藤さんと犬塚さん、話す内容はワーキンググループの中で決めることになるのですか。

(犬塚): 確認したいのですが、発表者の役割は提言内容の説明より、区民会議に参加しての思いを熱く語るということに重きが置かれるのでしょうか。

(植木): はい、そうなります。

(犬塚): 私は始め、説明をするのだと思っていたのですが、そうすると再度、整理した方がよいと気付きました。15 分を独り占めするのではなく、自分も思いを語りたいという人がいれば手を挙げてもらいたい。先ほどの決定を覆すようで恐縮ですが、そういう方法もあるかなと思います。

(植木): 内容も説明していただいてもかまわないのですが、基本的には「思い」を語っていただければと思います。時間は壇上への上り下りを含めて 15 分ですので、あまり人数が多いと進行上、難しいかなと思います。発表者には 14 日までに発表内容の原稿を出していただいて、16 日のワーキンググループに来ていただいて、リハーサルも含めて話をさせていただこうと思っています。

(板本): 私も誤解していました。改めてこの中で是非やりたいという方がありましたらお願い

します。

(中上): シャベリたいというわけではないのですが、最終の報告会なのに、提言内容を各分科会とも一切説明しないのですか。

(植木): 世話人会で話したのですが、世話人の先生方から、「提言内容については提言書に書いてあるのだから、その内容については説明する必要はないだろう」と一蹴されました。

(中上): それぞれの分科会でポイントを絞って、話をした方がよいのではないかと思います。

(植木): それは世話人会で 1 時間ぐらい話しをして、その結果が、各分科会に平等に時間を配分して、分科会ごとに今までの熱い思いを語っていただくということです。

(中上): 報告書を渡して、「さあ読みなさい」では、ちょっと失礼かと思えます。

(小宮): 実は WG からは、パワーポイントを使ったりして中間発表会のようにきちんと内容を位置づけ、時間内でわかりやすく説明をして、提言の内容を皆さんに理解してもらおうということが進んでいました。しかし、言いたいことは提言書にきちんと書いてあるし、分科会は 6 つあるのに大項目は 4 つしかないので、誰がどう説明しようかという問題もあります。それなら、各分科会の人達が出てきて 1 年間活動してきた「思い」を語る方がよいということになりました。ただ、提言書の内容を全く説明しないと決まった訳ではなく、「説明を中心じゃ面白くないね」というニュアンスでした。

(中上): 了解しました。

(植木): そういうことで、15 分の時間内ですが、中間発表みたいな報告をやっても構わないのです。ただ世話人会で言われたのは、熱い思いを語ろうということです。

(小宮): 熱い思いを語るには、何となくみんなで語りたい。

(吉田): 編集会に出ていないので、誰がそんなことを言ったのかわかりませんが、出席していたら私は反論していたと思います。別にいいじゃないですか、区民の方が何をしようが。やりたいようにやらせてあげるのが筋だと私は思います。中上さんがおっしゃるように、初めて来られた方に対して、「提言書の内容は読めばわかります」というのは違うかなという気がします。また、熱い思いを語るというのも理解できなくはないので、あくまで私の意見ですが、各班の班長さんにお話しいただくというのはいかがでしょうか。当然これまで取り組まれたことについてもお話しされるわけですから、提言書の内容にも即しているわけです。その中で熱い思いを語っていただければよいと思います。各班で熱い議論をちょうど去年の 6 月からやってこられたわけですから、各班の班長さんが伝えられると思います。班長さんまたは各班から 1 人出てきてもらうと、1 人 2 分程度になりますがどうでしょうか。私は 30 数名の方々がずっと参加してきたこのプロセスがすごく貴重だと思いますし、どこにも負けないと思っていますので、是非このプロセスを見せつけたいなと思います。私は喋る場も何もありませんので、皆さんに託したいと思います。よろしくご検討お願いします。

(小宮): 皆さんのご意見をいただきたいと思います。この話しの原点は、やはり分科会が 6 つあるのだから、みんなで参加しようというのが基本になっていると思います。第 4 分科会としての参加の仕方も、ある意味ではこれと同じかなと思います。班長会が犬塚さんと遠藤さんをお願いしようということになったというのは、元々大勢という意識がなかったからです。みんなが参加するという案は始めて出てきました。いかがでしょうか、各班で班長さんまたは発表が得意な人がいたらその人でもよいのですが、みんなで参加するという第 4 分科会の良いところを出しましょう。そういう方向でどうでしょうか。

(犬塚): ただ、ある程度シナリオを統一しないと発表会が滅茶苦茶になってしまうので、どこ

に重点を置くのかを統一した方がよいと思います。提言を柱にして活動報告を語るのか、思いが中心なのか、その辺をもう少しはっきりさせるべきだと思います。せっかく 1 年間やってきたわけですから、ある程度きちっとした提言内容の説明も必要なのだと思います。15 分間非常に短いですよね。読めばすぐ終わってしまう時間ですから。シナリオをある程度はっきりさせた方がよいと思います。

(植木): ありがとうございます。ただ、6 つの分科会で今から統一するのは難しいので、第 4 分科会として 15 分を有意義に使っていただければと思います。各班から 1 人出て喋っていただくのも構わないですし、その辺は皆さんにお任せします。また、パワーポイント使っても構わないですし、使いたいものがあれば前もって言っていただければできる範囲で用意します。

(小宮): いずれにしても全体の話がきちっとないと、どういう「思い」を言っているのかわからなくなってしまいます。今までの意見を聞いていると発表者は 1 人ではない方がよいわけですね。班の中で 1 人出るということであれば、班長会でも決められますがどうでしょうか。

(吉田): これだけの人数ですから、皆さんの総意で決めることはできないと思いますし、どうでしょうか。今小宮さんが言われたように、各班から 1 人ずつの計 6 人が限界だと思います。一人 2 分ですが、ウルトラマンでも 3 分間で戦えますから、事前に準備すれば 2 分あれば、ある程度伝えられると思います。班長さんが一番ご苦労されてきたことはよくわかっていますので、班員の方からご意見聞いて班長さんが全部お話しになるというのはいかがでしょうか。もちろん班長さんが、今回はこの人だよということならそれでも良いです。その時さっき言われたように、ある程度シナリオとかストーリーだけはきちんとしておけばよいのではないのでしょうか。ただワーワー言うのではなくて、起承転結だけははっきりしておいて、なぜ第 4 分科会を始めたか、こういう風に進めたよ、こういう結果になったよ、ということを簡潔に言えるようすればよいのではないのでしょうか。

(小宮): 他にご意見はありますか。

(中上): 今、吉田先生からご提言があったのですが、私はあくまでそれぞれの分科会が別々のスタイルの出し物をする、と聞いている人は変な感じを受けるのではないかなと思います。おおまかなところは統一してやる方がよいと思うのです。そうすれば各分科会が、こういうことについてこう考えていたのか、とわかると思います。全く自由に 90 分ではまとまりがなくなります。

(吉田): WG とか定例会に出るとわかりますけど、各分科会それぞれ熱い思いを持っているから、小宮さんとか植木さんがここまで持ってくるのも大変だったのではないかなと思います。確かに中上さんが言うことが筋だと思いますし、一つの原則だと思います。ただ、今からそこまでもっていく時間がないと思います。

(植木): 各分科会とも来週ぐらいで終了しますので、意見をまとめる時間がありません。聞いている方には申し訳ないのですが、各分科会でそれぞれ判断してやってもらうことで決定してまいりました。中上さんの気持ちもよくわかりますし、私も WG の代表として編集部会でそのような話を提案したのですが、このような結論になりました。どうかご理解ください。それでも、思いを語る分科会あり、経過を述べる分科会あり、提言を述べる分科会ありというのも、聞く方にとっては、それはそれで楽しいのではないかなと思います。

(犬塚): いずれにしても、枠組みは決まっているので、その中でどうやってきちんと始末をつけるかという話ですね。6 つの班でそれぞれ思いを整理しながら話すということもあるかなと思います。第 4 分科会では私たちは何を大切にしようと思ったのかとか、どういうことが論点になってきたのか、その結果どういう話でどうやってゴールにたどり着けたのか、その辺りを整理して

シナリオにしていけばよいと思っています。各班から 1 人ずつ 6 人でリレートーク方式に語るという方法もありますし、また、話すべき内容をあらかじめまとめて、それを 1 人または 2 人に託して 15 分で話してもらうこともあるかと思います。中身をどうするかというのは班長会議でひと踏ん張りしてもらい、割り振りをしっかりしてもらえればよいかと思います。

(小宮): 他にご意見ありますか。では、今、犬塚さんがまとめてくださった方向で進めたいと思います。時間の都合もありますので、この会が終わってから班長さん中心に集まっていただいて、コンセプトを明確にして、第 4 分科会としてのストーリー立てをしながら考えていきたいと思っています。

#### (5) 第 5 回編集部会の報告

(小宮): それでは、次に 5 月 25 日に行われた第 5 回編集部会の報告をします。

< 資料「第 5 回編集部会のまとめ」説明 > (省略)

#### (6) 提言(案)の確認

(小宮): それでは、今お手元にお配りしております提言書(案)ですが、修正すべき点がありましたら今日中にいただきたいと思います。10 分間ぐらいご確認ください。

#### (7) その他

(小宮): その他ですが、1 点目が、事務局から配っていただいた第 4 分科会の活動記録ですが、提言書に盛り込むことになっています。事務局でわかる範囲で調べていただきましたが、追加や修正がありましたら、5 月 30 日までに事務局までお願いします。

それから、非常に大切なことがもう一つあります。次回 6 月 2 日の分科会をもって、ひとまず最後となります。それで、分科会の後に懇親会を行いたいという提案です。

(植木): 皆さんが賛同していただけるなら、懇親会を開催したいと思うのですが、いかがでしょうか。

< 拍手 >

21 時頃のスタートを予定していますが、参加できるという方は挙手をお願いします。

ありがとうございます。当日でも追加はできるようにしておきますが、今日は欠席者が多いので、事務局から皆さんに参加の確認をとっていただきたいのですが。

(田中): わかりました。

(植木): それではよろしくをお願いします。

### 3 連絡事項

(小宮): 以上で本日の議事を終わりますが、次回 6 月 2 日が最後の分科会となります。それから、第 3 回全体会として「区長への提言書の提出」が 6 月 25 日に早稲田大学井深大ホールで行われます。また、第 6 回編集部会が 5 月 30 日に、第 4 回提言 WG が 6 月 16 日に行われます。

### 4 閉会

それでは本日はご苦勞様でございました。これで分科会を終了します。